

令和 8 年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	障がい者支援センターあゆの里		
開催日時	令和 8 年 7 月 21 日(火) 13:30～14:30		
開催場所	障がい者支援センターあゆの里 別館多目的室		
出席者	構成員	人数	備考
	経営に知見を有する方	1 名	
	福祉に知見を有する方	1 名	
	入居者代表	1 名	
	入居者ご家族代表	1 名	
	地域の関係者	1 名	
	市町村担当職員	1 名	
	事務局職員	3 名	
議題	① グループホームへの訪問について ② 地域移行等意向確認調査の結果について ③ 利用者 M さんの地域移行支援に向けた検討について ④ 地域の連携に関する意見交換		
協議内容・意見等	① グループホームへの訪問について 話し合いの結果、10 月後半に実施予定とし、具体的な日程は事業所で調整後、委員へ連絡することとした。 事務局職員より訪問の際の留意点について説明行う。 ② 地域移行等意向確認調査の結果について 事業所職員より、意向確認結果について報告を行った。 ・入所利用者 33 名を対象に意向確認を実施。 ・27 名が「現在の施設で生活を継続したい」と回答した。 ・一方で、グループホームや一人暮らしなど地域生活を希望・関心を示す利用者も確認された。 ・今後も本人の意思確認を継続し、地域生活に関する情報提供や体験の機会を設けながら、本人の希望に応じた地域移行支援を進めていくことを説明した。 施設長より補足説明 入所期間が長い利用者ほど現在の施設での生活継続を希望する傾向が見られることについて補足説明があった。 サービス管理責任者より補足説明 グループホーム見学等を実施した利用者の中には、生活環境や設備面を踏まえ、現在の施設での生活を希望する利用者もいることについて説明があった。 委員からの意見 特に意見・質問はなかった。		

協議内容・意見等	③ 利用者 M さんの地域移行支援に向けた検討について 事務所職員より、M さんの生活歴や現在の生活状況、地域移行に関する本人の意向、課題及び今後の支援方針について説明を行った。 サービス管理責任者より補足説明 M さんは担当職員との関わりを好む一方、利用者同士での交流は少ないことや、施設を出たいという希望を話されることがあるものの、その後「やはり施設にいる」と気持ちが変化するなど、本人の意向が変化することがある旨の説明があった。また、過去に他施設の見学を実施した経緯についても説明があった。 委員からの意見・質問 委員より、同様のケースに対する支援方法について質問があり、サービス管理責任者より施設見学や体験利用等を通して本人の意思確認や地域生活への理解を深める支援を行っていることを説明した。 座長意見 座長より、本人の現在の様子や意向を踏まえると、今後も施設での生活継続を希望される可能性があるとの意見があった。 ④ 地域の連携に関する意見交換 事務局より、現在実施している地域との連携・交流の取り組みについて説明を行った。ホームページでの活動報告や施設祭りの開催、イオン「黄色いレシートキャンペーン」への参加、他施設の祭りへの参加、B 型事業所における地域の保育園児を招いた野菜収穫体験等の取り組みについて説明し、今後の地域との連携について意見を求めた。 委員からの意見 役場職員より、地域で開催される祭りへの参加や、施設近隣の河川で年 2 回実施されている、「緑川一斉清掃」への参加について提案があった。 また、座長より SNS を活用した情報発信について提案があり、事務局よりホームページでの活動報告や年 2 回発行している広報誌をホームページへ掲載し、情報発信を行っていることを説明した。 今後も地域との連携や情報発信の充実に向け、委員からの意見を参考に取り組みを進めていくことを確認した。 以上をもって議事を終了し、閉会した。
-----------------	--